

かるがも

10 月号



鶴ヶ島子育てセンター
(鶴ヶ島保育所内)
鶴ヶ島市脚折 1922-23 ☎ 286-7201

さわやかな秋風に高く澄んだ空

大きく深呼吸したくなるような気持ちのよい季節

色とりどりのコスモスにキンモクセイの甘い香り...

赤とんぼにも出会えるかな

親子で秋を見つけてみませんか



パパとあそぼう！

～パパの園庭開放～

【日時】 10月20日(土) 9:30～11:30

【場所】 鶴ヶ島保育所 園庭・保育室

砂場、ブランコ、すべり台…
バギーや三輪車も人気！保育室でも遊べるよ♪
時間内は出入り自由です。

0歳～就学前のお子さんとパパ限定！
その間、ママは自由な時間を過ごしてね♡

11月は、17日(土)を予定しています



わくわくキッズ☆フェスティバル

【日時】 10月26日(金) 10:00～13:30

【場所】 西市民センター

参加無料

【申込み先】 各『つどいの広場』
または、子ども支援課
※当日参加もできます

*駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通
機関、乗り合わせでお越しください

詳しくは、チラシを見てね



子どもと絵本を楽しもう

絵本の世界を楽しんでいるうちに子どもの心にストーンと落ちる不思議な力をもっている絵本。動画とは違って自分のペースでみることができるのも魅力の一つ☆
お気に入りの絵本を見つけてみては…



こんな時に こんな絵本はいかが？

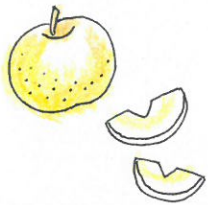
【おいしそう♡思わず食べたくなってしまう絵本】

待ちどおしくなる食事タイム



「おべんとう」 作：小西英子 出版社：福音館書店

お弁当箱用意して、さあて何から入れようか？一番最初は炊きたてのほかほかごはん。それからあつあつのミートボールにふんわり卵焼き。忘れちゃいけないタコさんウイナー。いろんなおかずが次々と詰められて、なんともおいしそうなお弁当のできあがり！大人も子どもも大好きなお弁当がテーマの絵本です。出てくる食材はどれもおいしそうでつい手を伸ばしてしまいそう。お弁当ができるうれしさ、楽しさを存分に描きます。



「くだもの」 作：平山和子 出版社：福音館書店

すいか、もも、ぶどう、なし、りんごなど、日常子どもたちが食べるくだものを、まるで実物かと思わせるほど鮮やかに描いた、いわば果物の画集。



絵本からいい匂いがしてきそう♪
もしかしたら、心も満腹になれるかも

「しろくまちゃんのほっとけーき」

作：わかやまけん 出版社：こぐま社

しろくまちゃんがホットケーキを作ります。卵を割って、牛乳を入れて…。焼き上がったらこぐまちゃんを呼んで、二人で「おいしいね」。見開きいっぱいに描かれたホットケーキの焼ける場面は、子どもたちに大人気。

お風呂タイム

【体を洗うのが楽しくなる絵本】

親子で“ごしごししゅっしゅ”と
口ずさみたくなるかも♪
心まであたたかくなれるかな♡



「もりのおふろ」 作：西村敏雄 出版社：福音館書店

森のおふろにライオンがやってきて、体を洗い始めます。そこへゾウがやってきたので、ライオンはゾウに背中を洗ってもらいます。ワニ、ブタと次々動物がやってきて、最後にやってきたのはウサギ。みんなで輪になり、前の動物の背中を流します。「ごしごししゅっしゅごしごししゅっしゅあぶくぶくぶくごしごししゅっしゅ」。お湯をザブーンとかけ合い、お風呂へドボンと入り、ゆっくりお湯につかって、極楽極楽、いい気持ち！

【思わず笑ってしまう…イヤイヤっ子が主役の絵本】

“自分でやりたい気持ち”に思わず
がんばれ！と応援したくなっちゃう



イヤイヤ期ま 最中



「もうぬげない」 作：ヨシタケシンスケ 出版社：ブロンズ新社
ふくがひっかかってぬげなくなって、もう どれくらいたったのかしら。この
ままずっとぬげなかったらどうしよう。このままおとなになるのかな。ぬがな
いまま、工夫しながら生きる？ ぬげない仲間をみつけて、たのしく生きる？
あれこれ考えるうち、だんだんおなかがさむくなってきて…。



「いやだ いやだ」 作：せなけいこ 出版社：福音館書店
ルルちゃんは何にでもすぐに「いやだいやだ」といいます。あんまり「い
やだいやだ」と言っていたら……。お母さんも「いやだ」といって抱っこし
てくれなくなりました。おやつもお日さまも、保育園にはいていく靴も、大
事なくまのぬいぐるみも、みんなが「いやだ」といいます。みんなに「い
やだ」といわれて、ルルちゃんは泣きベソをかいてしまいます。いやいや期
の子どもといっしょに読みたいユーモラスな絵本です。



疲れたなよ〜と感じた時

【大人が癒される絵本】

「いいから、いいから」の言葉に心が
ほぐれる！思わず笑顔になれるかも♡



「いいから いいから」 作：長谷川義史 出版社：絵本館
突然やってきたカミナリの親子。
にもかかわらず「いいからいいから」と、もてなすおじいちゃん。
カミナリにおへそをとられても「いいからいいから」のおおらかさ。
肩のちからがぬけることまちがいなし。



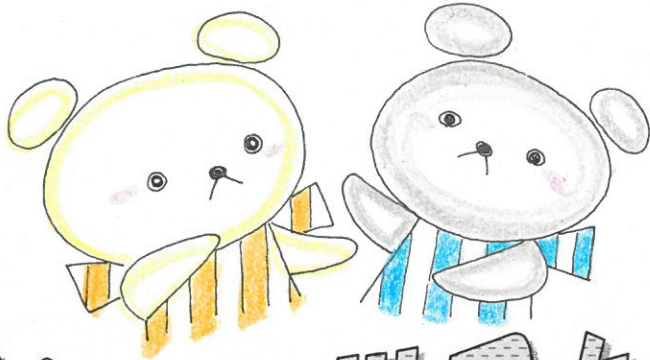
「ちょっとだけ」 作：瀧村有子 絵：鈴木永子 出版社：福音館書店
弟が生まれて、なっちゃんはお姉さんになりました。お母さんは赤ちゃんの
お世話で忙しいので、いつもなっちゃんの要求に応じてあげるといふ訳には
いけなくなりました。そこで、なっちゃんはいろんなことを自分ひとりでや
ってみます。お姉さんになったからと頑張るなっちゃんですが、眠くなった
時だけは、どうしてもお母さんに甘えたくくなります。お姉さんになったこ
とで感じる切なさ、そしてそれを乗り越えることで成長していく子どもの姿を
母親の深い愛情とともに描いています。



親子でくり返し読んでいると、日常のふとしたときに絵本の場面が浮かん
できて、子どもとふたりだけの特別な瞬間を感じる事ができるかも♡
親子のコミュニケーションツールとしてだけではなく、ママやパパも絵本を
楽しんでみてはどうでしょう。

ママやパパ自身が「絵本っていいなー、楽しいなあ」って感じられたら、その
気持ちはきっと子どもに伝わると思います。





絵本の世界をたのしもう

『しろくまちゃんのほっとけーき』を
みんなで食べよう



- 【日時】 10月21日(日) 10:00~11:30 (受付9:45)
【場所】 鶴ヶ島保育所
【対象】 1歳6か月~概ね5歳の児童と保護者 15組35人程度
(市内在住の方優先、申込順)

【食材費】 親子1組 150円
*食材についてはお問い合わせください

【持ち物】 飲み物、タオル、室内履き(大人のみ)など

【申込み・問合せ】

10月4日(木)9時~ 電話または直接
鶴ヶ島子育てセンター (鶴ヶ島保育所内)

049-286-7201 土日祝除く9時~17時

